

エコアクション21



エコアクション21<sup>®</sup>  
認証番号 0005555

# 環境活動レポート

平成27年7月～平成28年6月



平成28年7月15日

株式会社 大島組

# 株式会社 大島組

## 環 境 方 針

### 基 本 理 念

株式会社大島組は、建築工事及び土木・舗装工事業を営む立場より継続的な環境との共生・調和を目指し、環境負荷の軽減を図るために以下の環境方針を定め、事業活動を通じてその実現に取り組めます。

### 行 動 指 針

1. 環境方針の達成のために環境目標を設定し環境保全活動に努めます。
2. 環境負荷を意識し、把握することにより、二酸化炭素排出量・廃棄物排出量及び水使用量を削減します。
3. 環境に関連する法規制等を遵守するとともに、環境汚染の予防及び拡大防止に努めます。
4. 環境目標の達成・是正活動による見直しによって継続的な改善に努めます。
5. 地域の清掃活動等の社会貢献活動の推進を図ります。
6. グリーン購入の推進を図ります。
7. エコ商品であるルーフシェードの販売目標値を設定し、その目標値の達成によりエコ商品の啓発普及に努めます。
8. この環境方針は、全社員及び協力会社に周知するとともに一般の方にも公開します。

平成 24 年 7 月 1 日

株 式 会 社 大 島 組

代表取締役社長

大島弘三

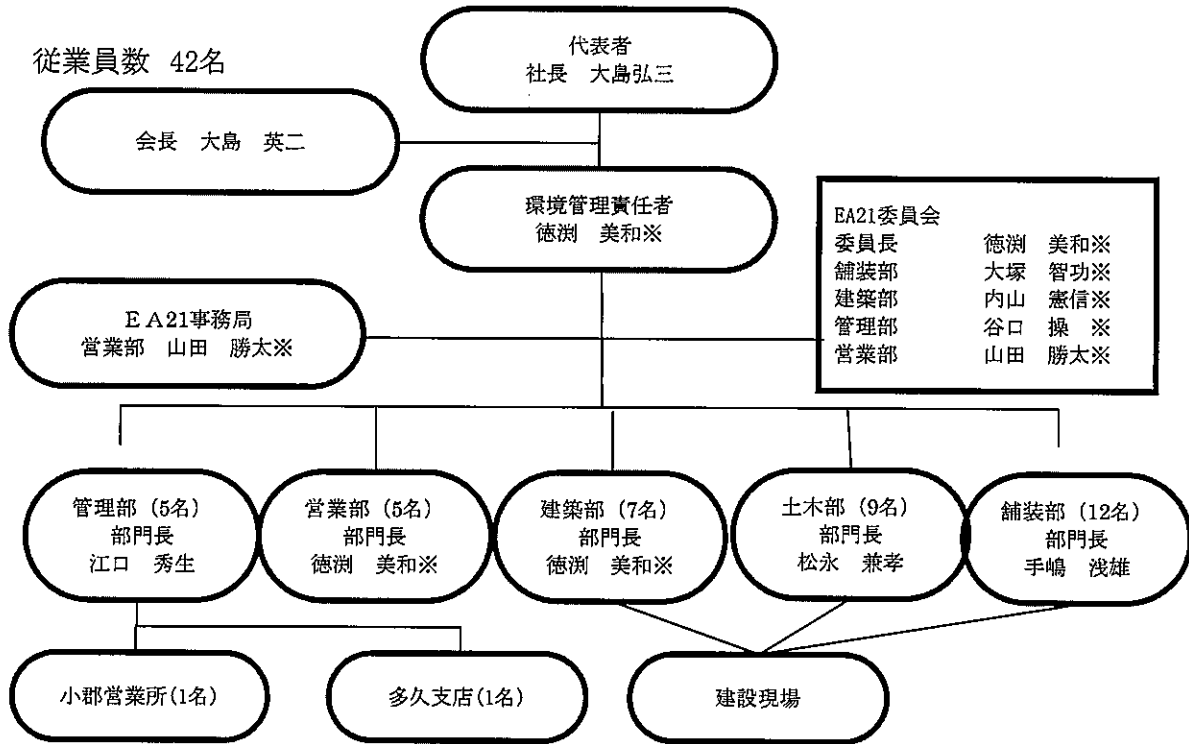
## 1. 組織の概要

- 1 事業所名 株式会社 大島組  
 代表者氏名 代表取締役社長 大島弘三
- 2 事業所の所在地  
 本社  
 〒841-0055 佐賀県鳥栖市養父町38番地  
 小郡営業所  
 〒838-0141 福岡県小郡市小郡1565番地4  
 CasaOgori102号室  
 多久支店  
 〒846-0003 佐賀県多久市北多久町  
 大字多久原4232
- 3 環境管理責任者  
 担当者氏名 営業部長 徳淵美和  
 連絡先 営業部 山田勝太  
 TEL 0942-83-2655  
 FAX 0942-85-3733
- 4 事業の内容  
 (認証対象活動)  
 土木工事業 建築工事業 とび・土工工事業  
 鋼構造物工事業 舗装工事業 しゅんせつ工事業  
 造園工事業 水道施設工事業 宅地建物取引業  
 (産業廃棄物収集運搬は業としてない。)
- 5 事業年度 7月～翌年6月
- 6 事業の規模

	単 位	68期	69期	70期
売 上 高	百万円	943	972	1171
工事件数	件数	411	414	451
従 業 員	人	39	41	42
床 面 積	m <sup>2</sup>	1,315	1,315	1315

## 2. EA21実施体制

※・・・兼任者を示す



※・・・兼任者を示す

### 役割・責任・権限表

	役割・責任・権限
代表者(社長)	・環境経営に関し、統括的に責任と権限を持つ
	・代表者として環境方針を作成・見直し全従業員に周知
	・環境管理責任者・EA21委員会委員・事務局員等の任命
	・環境経営実施に伴う以下の準備→人・費用・設備・時間
	・環境目標・活動計画書・環境活動レポート等の環境文書の制改訂責任者
	・全体の取組状況の評価・見直し
環境管理責任者	・ガイドラインに添って環境経営システムを構築・実行・管理し、実績を向上させる
	・環境活動の取組結果を代表者へ報告
EA21事務局	・EA21委員会の事務局
	・環境活動実施計画の実績集計
EA21委員会	・全体計画の原案・立案
	・環境活動実行状況の審議(3ヶ月に1回開催)
部門長	・各部門における環境経営システムの実施
	・各部門における環境経営の周知
	・教育訓練の実施
	・環境目標及び環境活動計画の実施及び達成状況の報告
	・問題点の発見、是正、予防処置
全従業員	・環境方針の理解と環境への取組の重要性を自覚
	・定められた事項の遵守
	・環境活動への参加

環境記録の保存期間は、3年間とする。

### 3. 環境目標とその実績

#### (事務所)

#### 1. 目標の達成状況

当社はエコアクション21に基づく環境経営システムを構築し、68期から環境活動に取り組んできた。過去の環境負荷実績及び、70期の目標と実績は、以下の通りである。

環境目標	目標 ／ 実績	単位	68期	70期 (平成27年7月1日～ 平成28年6月30日)
二酸化炭素排出量の削減 (2%削減)	目標	kg-CO2		48,318 (-2%)
	実績	kg-CO2	49,305	45,612 (-7%)
廃棄物排出量の削減 (2%削減)	目標	kg		632 (-2%)
	実績	kg	645	625 (-3%)
水使用量の削減 (2%削減)	目標	m <sup>3</sup>		397 (-2%)
	実績	m <sup>3</sup>	405	444 (+10%)
社会貢献活動の推進	目標	回		17
	実績	回	17	17
グリーン購入の推進	目標	品目		21
	実績	品目	23	23

( ) 内数値は、基準年度68期比の削減率又は増加率を示す。

二酸化炭素の排出量は、九州電力の平成25年度実排出係数0.613kg-CO<sub>2</sub>/kWhを使用している。

#### 2. 今年度以降の目標

環境目標	単位	70期	71期	
二酸化炭素排出量の削減	kg-CO2	48,318 (2%削減)	47,825 (3%削減)	
廃棄物排出量の削減	kg	632 (2%削減)	626 (3%削減)	
水使用量の削減	m <sup>3</sup>	397 (2%削減)	393 (3%削減)	
社会貢献活動の推進	回/年	17	17	
グリーン購入の推進	購入品目	21	22	

( ) 内数値は、基準年度68期比の削減率又は増加率を示す。

## (現場)

### 1. 目標の達成状況

当社はエコアクション21に基づく環境経営システムを構築し、68期から環境活動に取り組んできた。過去の環境負荷実績及び、70期の目標と実績は、以下の通りである。

環境目標	目標 / 実績	単位	68期	70期 (平成27年7月1日～ 平成28年6月30日)
二酸化炭素排出量の削減 (2%削減)	目標	kg-CO <sub>2</sub>		155,240 (-2%)
	実績	kg-CO <sub>2</sub>	158,408	139,540 (-12%)
廃棄物排出量の削減 (2%削減)	目標	t		4,943 (-2%)
	実績	t	5,044	4,217 (-16%)
水使用量の削減 (2%削減)	目標	m <sup>3</sup>		85 (-2%)
	実績	m <sup>3</sup>	87	3 (-97%)
建設資材の再生品の 利用促進	目標	%		77.6 (+2%)
	実績	%	75.6	58.5 (-23%)
エコ商品の啓発普及 (ルーフシェード)	目標	m <sup>2</sup>		3,808 (+220%)
	実績	m <sup>2</sup>	1,731	255 (-86%)

( ) 内数値は、基準年度68期比の削減率又は増加率を示す。

二酸化炭素の排出量は、九州電力の平成25年度実排出係数0.613kg-CO<sub>2</sub>/kWhを使用している。

### 2. 今年度以降の目標

環境目標	単位	70期	71期	
二酸化炭素排出量の削減	kg-CO <sub>2</sub>	155,240 (2%削減)	153,655 (3%削減)	
廃棄物排出量の削減	t	4,943 (2%削減)	4,893 (3%削減)	
水使用量の削減	m <sup>3</sup>	85 (2%削減)	84 (3%削減)	
建設資材の再生品の 利用促進	%	77.6 (2%増加)	78.6 (3%増加)	
エコ商品の啓発普及 (ルーフシェード)	m <sup>2</sup>	3,808 (220%増加)	4,154 (240%増加)	

( ) 内数値は、基準年度68期比の削減率又は増加率を示す。

※ルーフシェードのm<sup>2</sup>は施工面積を示す。

## (小郡営業所)

### 1. 目標の達成状況

当社はエコアクション21に基づく環境経営システムを構築し、68期から環境活動に取り組んできた。過去の環境負荷実績及び、70期の目標と実績は、以下の通りである。

環境目標	目標 ／ 実績	単位	68期	70期 (平成27年7月1日～ 平成28年6月30日)
二酸化炭素排出量の削減 (2%削減)	目標	kg-CO2		715 (-2%)
	実績	kg-CO2	729	577 (-21%)
廃棄物排出量の削減 (2%削減)	目標	kg		0
	実績	kg	0	0
水使用量の削減 (2%削減)	目標	m <sup>3</sup>		35 (-2%)
	実績	m <sup>3</sup>	36	47 (+30%)

二酸化炭素の排出量は、九州電力の平成25年度実排出係数0.613kg-CO<sub>2</sub>/kWhを使用している。

### 2. 今年度以降の目標

環境目標	単位	70期	71期	
二酸化炭素排出量の削減	kg-CO2	715 (2%削減)	708 (3%削減)	
廃棄物排出量の削減	kg	0 (実績把握)	0 (実績把握)	
水使用量の削減	m <sup>3</sup>	35 (2%削減)	35 (3%削減)	

( ) 内数値は、基準年度68期比の削減率又は増加率を示す。

## (多久支店)

### 1.目標の達成状況

当社はエコアクション21に基づく環境経営システムを構築し、68期から環境活動に取り組んできた。過去の環境負荷実績及び、70期の目標と実績は、以下の通りである。

環境目標	目標 ／ 実績	単位	68期	70期 (平成27年7月1日～ 平成28年6月30日)
二酸化炭素排出量の削減 (2%削減)	目標	kg-CO2	/	1,442 (-2%)
	実績	kg-CO2	1,472	1,846 (+25%)
ガソリン使用量の削減 (2%削減)	目標	kg	/	621 (-2%)
	実績	kg	634	795 (+25%)

二酸化炭素の排出量は、九州電力の平成25年度実排出係数0.613kg-CO<sub>2</sub>/kWhを使用している。

### 2.今年度以降の目標

環境目標	単位	70期	71期	
二酸化炭素排出量の削減	kg-CO2	1,442 (2%削減)	1,428 (3%削減)	
ガソリン使用量の削減	kg	621 (2%削減)	614 (3%削減)	

( ) 内数値は、基準年度68期比の削減率又は増加率を示す。



#### 4. 環境活動計画及び取組への評価結果 事務所

環境活動計画の実施状況と評価

取組み目標	責任者	活動内容	実施状況			評価
			7~10月	11~2月	3~6月	
1 電気使用量の削減	営業部	① エアコン設定温度を決め、実行する	○	○	○	・電気使用量削減について、照明機器スイッチ管理やPCの電源管理等意識が向上してきたと思われる。また全社員とは言いえないので引き続き意識付を続ける。 ・ガソリン軽油使用量の削減について、適正な車両整備等引き続きお願いますとともに入替等も随時検討する。 ・ガス使用量・水道使用量の削減について、全体朝礼で報告を行い再度全社員への呼びかけをし意識を高める。
	山田	② 照明機器スイッチ管理	○	○	○	
	管理部	③ パソコン不使用時には電源OFF	○	○	○	
2 ガス使用量の削減	管理部	① 無駄な使用を避ける	○	×	×	
	谷口					
3 一般廃棄物の削減	営業部	① 鳥栖市分別回収の利用	○	○	○	
	山田	② リサイクルに対する各人の意識の向上	○	○	○	
4 水道使用量の削減	管理部	① 洗い物はまとめてやる。	○	×	×	
	谷口					
5 社会貢献活動の推進	営業部	① 月1回の会社周辺の清掃活動	○	○	○	
	山田	② 鳥栖市他各団体でのボランティア参加	○	○	○	
6 ガソリン軽油使用量の削減	管理部	① 適正な車両整備を行う。	○	○	○	
	宮原	② 最大積載量に見合った輸送単位の設定	○	○	○	
7 グリーン購入の推進	管理部	① 備品購入の際は使い捨ての物は避けリサイクル出来る物エコマーク商品等を優先する	○	○	○	
	谷口		○	○	○	

実施状況の判定 ○：実行されている ×：実行されていない -：判定できない、該当しない

環境目標の達成状況と評価

環境目標	目標実績	単位	達成状況				達成状況	評価
			H27.7~10月 (達成率)	H27.11~H28.2月 (達成率)	H28.3~6月 (達成率)	70期 H27.7月~H28.6月 (達成率)		
電力使用量の削減	目標	kwh	28,322	29,932	20,350	78,604	○	・ガス使用量・水道使用量の削減が達成出来ない。来期に向け掲示物での周知に加え全体朝礼で報告呼びかけて来期に備える。
	実績	kwh	25,308 (110.6%)	28,551 (104.6%)	20,291 (100.3%)	74,150 (105.7%)		
ガス使用量の削減	目標	kg	6.6	20.9	17.2	44.7	×	
	実績	kg	9.6 (54.5%)	23.7 (86.6%)	19.2 (88.4%)	52.5 (82.6%)		
一般廃棄物の削減	目標	kg	201	225	206	632	○	
	実績	kg	195 (103.0%)	220 (102.2%)	210 (98.1%)	625 (101.1%)		
水道使用量の削減	目標	m <sup>3</sup>	132	125	140	397	×	
	実績	m <sup>3</sup>	131 (100.8%)	150 (80.0%)	163 (83.6%)	444 (88.2%)		
社会貢献活動の推進	目標	回	5	5	7	17	○	
	実績	回	5 (100.0%)	5 (100.0%)	7 (100.0%)	17 (100.0%)		
二酸化炭素排出量の削減	目標	kg CO <sub>2</sub>	17,381	18,411	12,526	48,318	○	
	実績	kg CO <sub>2</sub>	15,543 (110.6%)	17,573 (104.6%)	12,496 (100.2%)	45,612 (105.6%)		
グリーン購入の推進	目標	品	7	7	7	21	○	
	実績	品	7 (100%)	8 (115%)	8 (115%)	23 (110%)		

達成状況の判定 ○：達成できている ×：達成できていない

現場

環境活動計画の実施状況と評価

取り組み目標	責任者	活動内容	実施状況			評価
			7~10月	11~2月	3~6月	
1 電気使用量の削減	各現場担当者	① エアコン設定温度を決め、実行する	○	○	○	・活動内容の実施はよく取り組んでいると思うが、ルーフシールドについて今期は引合いはあったが伸び悩んだ。営業サイトと現場サイドでの連携を密に取り受注を目指す。なお展示会等出展は継続する。
		② 照明機器スイッチ管理	○	○	○	
		③ パソコン不使用时には電源OFF	○	○	○	
2 ガリン使用量の削減 軽油使用量の削減	管理部 宮原	① アイドリングストップの実施	○	○	○	
		② 急発進・急加速をしない	○	○	○	
		③ 空気圧等のチェック	○	○	○	
3 水道使用量の削減	各現場担当者	① 現場事務所での洗い物はまとめて洗う	-	-	-	
		② 無駄な水の使用が無いよう呼びかける	-	-	-	
4 産業廃棄物量の削減	舗装部 大塚	① 産業廃棄物の適正な処理	○	○	○	
		② 産廃BOXの定期的確認	○	○	○	
5 建設資材の再生品の利用促進	各現場担当者	① 可能な範囲で再生資材利用に取り組む	○	○	○	
6 エコ商品の啓発普及(ルーフシールド)	建設部 青木	ルーフシールドの施工面積拡大を目指す 営業活動及び各展示会等での出店	×	○	×	

実施状況の判定 ○: 実行されている ×: 実行されていない -: 判定できない、該当しない

環境目標の達成状況と評価

環境目標	目標実績	単位	H27.7~10月 (達成率)			H27.11~H28.2月 (達成率)		H28.3~6月 (達成率)		70期 H27.7月~H28.6月 (達成率)	達成状況	評価
			目標	実績	達成率	目標	実績	達成率	目標			
電力使用量の削減	目標	kwh	306	1,950	675	2,931	2,931	675	2,931	×	・未達となってしまった電力使用量の削減だが、大型案件現場が複数あった事が要因と思われ。必要以外の無駄な使用が無い様、来期以降の大型案件の場場合は乗込み前に担当者へ通達等対策をとっていく。 ・ルーフシールドについて今期は伸び悩み未達であった。引合い数を伸ばせるよう展示会等も引き続き出展をし、商品の知名度を高め来期以降の営業活動について営業・工務と連携し取り進む。	
	実績	kwh	2,824 (722.9%)	1,567 (119.6%)	762 (0.0%)	5,153 (24.2%)	5,153 (24.2%)	762 (0.0%)	5,153 (24.2%)	○		
ガソリン使用量の削減	目標	L	11,386	10,896	10,453	32,735	10,453	32,735	32,735	○		
	実績	L	10,070 (111.6%)	10,488 (104.2%)	10,168 (102.7%)	30,676 (106.3%)	30,676 (106.3%)	10,168 (102.7%)	30,676 (106.3%)	○		
軽油使用量の削減	目標	L	8,633	10,541	9,294	28,468	9,294	28,468	28,468	○		
	実績	L	8,901 (96.9%)	8,814 (121.1%)	5,920 (136.3%)	23,135 (118.7%)	5,920 (136.3%)	23,135 (118.7%)	23,135 (118.7%)	○		
二酸化炭素排出量の削減	目標	kg CO <sub>2</sub>	49,570	55,671	49,999	155,240	49,999	155,240	155,240	○		
	実績	kg CO <sub>2</sub>	49,067 (101.0%)	49,649 (110.8%)	40,824 (118.4%)	139,540 (110.1%)	40,824 (118.4%)	139,540 (110.1%)	139,540 (110.1%)	○		
水道使用量の削減	目標	m <sup>3</sup>	38	46	1	85	46	1	85	○		
	実績	m <sup>3</sup>	0 (200.0%)	3 (193.5%)	0 (200.0%)	3 (196.5%)	3 (193.5%)	0 (200.0%)	3 (196.5%)	○		
産業廃棄物の削減	目標	t	217	3956	770	4943	3956	770	4943	○		
	実績	t	1457 (471.4%)	2639 (133.3%)	120 (184.4%)	4216 (114.7%)	2639 (133.3%)	120 (184.4%)	4216 (114.7%)	○		
建設資材の再生品の利用促進	目標	%				77.6			77.6	×		
	実績	%				58.5			58.5	×		
エコ商品の啓発普及(ルーフシールド)	目標	m <sup>2</sup>	1,270	1,269	1,269	3,808	1,269	1,269	3,808	×		
	実績	m <sup>2</sup>	0 (0.0%)	0 (0.0%)	255 (20.1%)	255 (20.1%)	255 (20.1%)	255 (20.1%)	255 (20.1%)	×		

達成状況の判定 ○: 達成できている ×: 達成できていない

### 小郡営業所

#### 環境活動計画の実施状況と評価

取り組み目標	責任者	活動内容	実施状況			評価
			7～10月	11～2月	3～6月	
1 電気使用量の削減	所長 執行	① エアコン設定温度を決め、実行する	○	○	○	・活動内容の実施はよく取り組んでいる と思われるが営業所使用者への報告 と連携を密に行い意識向上につとめる。
		② 照明機器スイッチ管理	○	○	○	
		③ パソコン不使用时には電源OFF	○	○	○	
2 水道使用量の削減	所長 執行	① 洗いや物はまとめて洗う	○	○	×	
		② 営業所を出る際の蛇口閉め忘れ防止	○	○	○	
3 二酸化炭素排出量の削減	所長 執行	① 適正な車両整備を行う。	○	○	○	
			×		×	

実施状況の判定 ○：実行されている ×：実行されていない -：判定できない、該当しない

#### 環境目標の達成状況と評価

環境目標	目標実績	単位	H27.7～10月	H27.11～H28.2月	H28.3～6月	70期	達成 状況	評価	
			(達成率)	(達成率)	(達成率)	H27.7月～H28.6月 (達成率)			
電力使用量の削減	目標	kwh	135	516	515	1,166	○	・水道使用量の目標値のみ達成できな かった。要因は営業所の業務増加であ る。取り組み自体はしつかり出来ている と思われるが、使用者への通達報告を 密にし、更なる意識向上をして来期以 降に対応する。	
	実績	kwh	77 (143.0%)	449 (113.0%)	416 (119.2%)	942 (119.2%)			
水道使用量の削減	目標	m <sup>3</sup>	1	9	26	36			×
	実績	m <sup>3</sup>	1 (100.0%)	15 (33.3%)	31 (80.8%)	47 (69.4%)			
二酸化炭素排出量の削減	目標	kg-CO <sub>2</sub>	83	316	316	715	○		
	実績	kg-CO <sub>2</sub>	47 (143.4%)	276 (112.7%)	255 (119.3%)	578 (119.2%)			

達成状況の判定 ○：達成できている × 達成できていない

# 多久支店

## 環境活動計画の実施状況と評価

取り組み目標	責任者	活動内容	実施状況			評価
			7～10月	11～2月	3～6月	
1 ガソリン使用料の削減	支店長 瀧	① アイドリングストップの実施	○	○	○	・活動内容の実施はよく取り組んでいる と思われるが目標達成の為、本社支店 間での報告通達を今以上に密に行う。
		② 急発進・急加速をしない	○	○	○	
		③ 空気圧等のチェック	○	○	○	
			X		X	

実施状況の判定 ○:実行されている ×:実行されていない -:判定できない、該当しない

## 環境目標の達成状況と評価

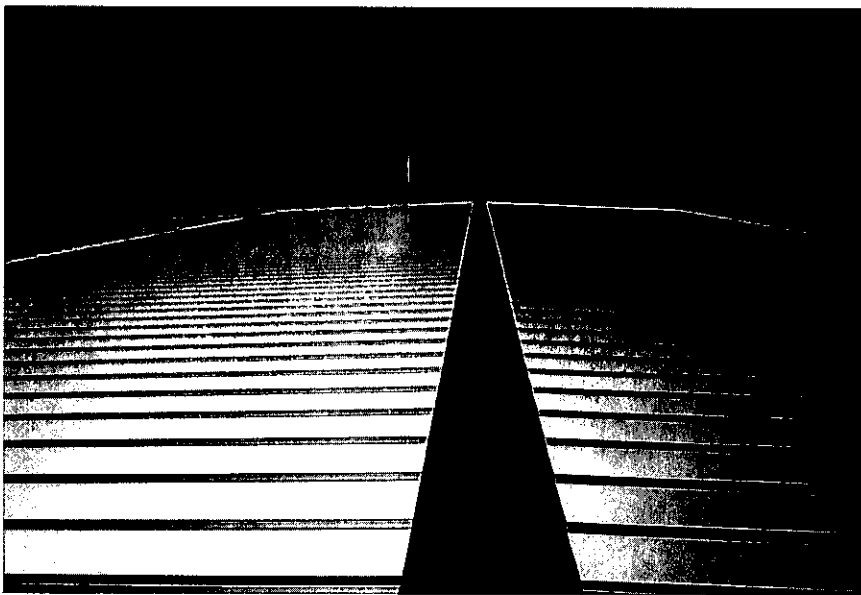
環境目標	目標実績	単位	H27.7～10月 (達成率)		H27.11～H28.2月 (達成率)		H28.3～6月 (達成率)		70期 H27.7月～H28.6月 (達成率)		達成 状況	評価
			目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績		
ガソリン使用量の削減	目標	L		307	181	133	621				×	・支店としての営業活動が増えて燃料 の使用量も増加した。来期以降も営業 ルート・本社支社間での往来等で無駄 がないように指示し削減に取り組み。
	実績	L	326 (93.8%)	275 (48.1%)	194 (54.1%)	795 (72.0%)						
二酸化炭素排出量の削減	目標	kg-CO <sub>2</sub>		712	420	310	1442				×	
	実績	kg-CO <sub>2</sub>	757 (93.7%)	539 (71.7%)	450 (54.8%)	1746 (78.9%)						

達成状況の判定 ○:達成できている ×:達成できていない

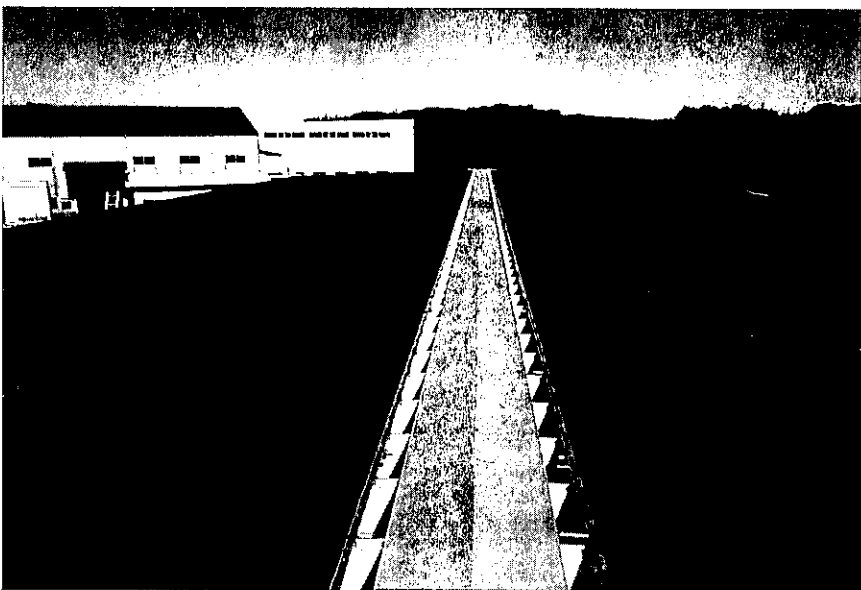
## 5. 推進事業【ルーフシェード】について

【ルーフシェードとは】

金属製屋根材の上面を独自の「日除けシート」で覆うことによって、太陽光による屋根から室内に伝わる熱を抑制することにより、夏場の室内環境を改善し消費電力を削減する遮熱・断熱工法です。



施工前



施工後

## 目標及び達成状況

当社はエコアクション21に基づく環境経営システムを構築し

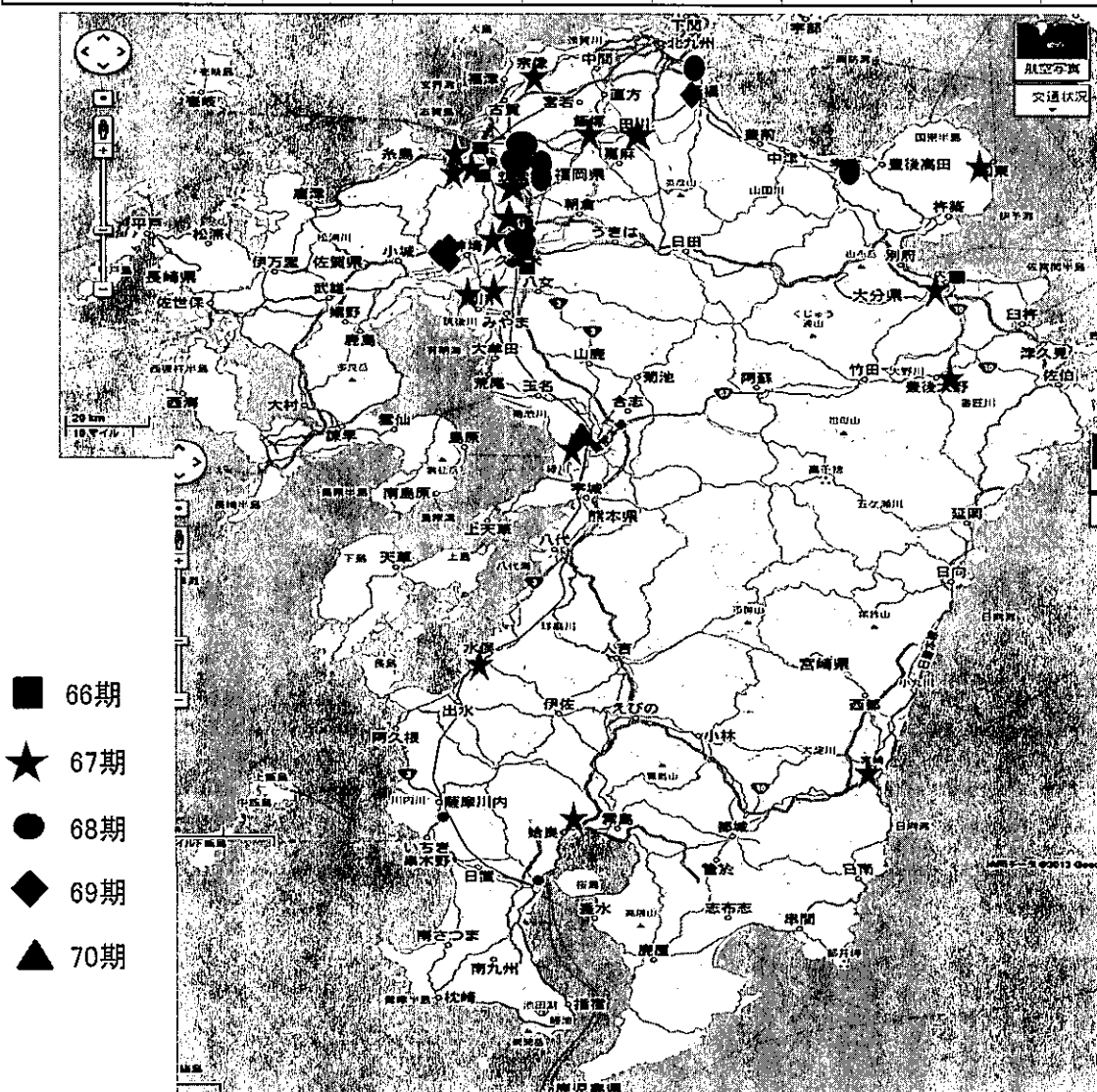
64期から環境活動に取り組んできた。

65期より当社推進事業であるルーフシェードの施工に関し目標を設定し

普及に取り組んできた。

70期の実績値は下記の通りである。

	目標 / 実績	単位	66期	67期	68期	69期	70期
ルーフシェード施工	目標	m <sup>2</sup>	-	5000	6000	3462	3808
	実績		1851.5	4922	1731	6561	255



## 6. 次年度の取組内容

取組目標		責任者	活動内容
1	電気使用量の削減	営業部	①エアコン設定温度を決め実行する (冷房時28℃暖房時20℃)
		山田	②照明機器スイッチ管理
			③パソコン不使用时には電源をOFF
2	ガソリン使用量の削減 軽油使用量の削減	管理部	①アイドリングストップの周知・実施
		宮原	②急発進・急加速をしない事の周知徹底
			③空気圧等のチェック
			④エンジンオイル等の定期的交換
3	水道使用量の削減	管理部	①洗い物はまとめて洗う
		谷口	②洗車等水使用の節約
4	事業活動に伴う社会貢献活動の推進	建築部	①近辺の道路清掃・ゴミ拾い
		青木	②市主催の美化活動参加
			③県主催の美化活動参加
5	産業廃棄物量の削減	建築部	①鳥栖市・分別回収の利用
		内山	②リサイクルに対する各人の意識向上
6	グリーン購入の推進	管理部	①値段等考慮し可能な範囲内で再生品の購入に努める
		谷口	②上記を踏まえたうえで再生品の購入数を増やす
7	エコ商品の啓発普及	営業部	①展示会・イベント等積極的に参加しエコ商品を紹介する
		山田	②ルーフシェード目標値を達成できるよう営業に取り組む

## 7. 主な環境関連法規への違反、訴訟等の有無

### 1. 環境関連法規等の遵守状況

環境関連法規等の遵守確認結果、違反はありません。

法規則等の名称	対 応 策	遵守状況
騒音規制法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特定建設作業の届出</li> <li>・ 低騒音機械の使用</li> </ul>	適正
振動規制法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特定建設作業の届出</li> <li>・ 低振動機械の使用</li> </ul>	適正
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 収集運搬業者及び処分業者との委託契約</li> <li>・ マニフェスト伝票の管理、保管、交付状況報告</li> <li>・ 廃棄物の不法投棄、焼却禁止</li> </ul>	適正
消防法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 定期点検の実施</li> </ul>	適正
建設リサイクル法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 分別の徹底、適正な搬出</li> <li>・ 産業廃棄物の発生抑制</li> <li>・ 再資源化により得られた建設資材の使用努力</li> </ul>	適正
オフロード法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 適正燃料の使用</li> <li>・ 点検整備の励行</li> </ul>	適正
労働安全衛生法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建築工事計画書の提出</li> <li>・ 石綿障害予防規則の遵守</li> </ul>	適正
大気汚染防止法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 計画書の提出</li> </ul>	適正
フロン排出抑制法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ フロン類の排出の抑制</li> <li>・ 引き渡し義務</li> </ul>	適正
家電リサイクル法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 再商品化の協力</li> </ul>	適正
自動車リサイクル法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自動車の長期使用、購入時の再資源化した自動車の選択、使用済自動車の再資源化の促進</li> <li>・ 使用済自動車の引渡義務</li> <li>・ 再生資源化料金の預託</li> </ul>	適正
資源の有効な利用の促進に関する法律 (ラージリサイクル法)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ リサイクル対策の強化、リデュース対策、リユース対策の導入</li> <li>・ 土砂、コンクリート、アスファルト、コンクリートの塊、木材の再生資源としての利用促進</li> </ul>	適正

### 2. 訴訟等の有無

関係機関及び、近隣住民からの指摘、苦情、訴訟等はありません。



## 代表者による評価と見直し

エコアクション 21 の運用を始めて、新計画の 2 期目が終了しました。現在に至るまで、エコアクション 21 の運用を経て少しずつではありますが全社員の環境に対する意識が向上しているのを深く実感しております。

今回事務所では、電力の削減について前期に引き続き達成出来ました。社員一人ひとりの取り組みが実を結んでいるのはもちろんですが、今後も社内照明の LED への変更等設備の充実も図りたいと思っております。しかし、燃料削減及び水道水の削減については未達となりました。今回の実績については事務所内に広く周知し来期の改善に努めていく次第であります。

次に現場について、今回は長期に渡り未達であった燃料削減について達成できました。鹿児島、熊本、大分など遠方の現場が多くなっている中での目標達成は社員の意識向上を実感できるものです。その一方で電力の削減について未達に終わりました。要因としては大型案件の増加が考えられます。必要分の電力以上の電力の利用が無いよう、現場段取りの充実・手戻りを無くす等々指導をしていきたいと思っております。来期については全ての目標を達成出来るよう取り組みます。

また 67 期からエコ商品であるルーフシェードの販売目標を設定し、その目標額の達成によりエコ商品の啓発普及に取り組んでおりますが、今期は受注案件が少なく目標を大きく下回りました。引合い案件を受注に繋げるよう、営業と現場の連携はもちろんですが、メーカーとも連携を取り来期は目標が達成できるよう、引き続き普及に取り組みます。

今期の 70 期が新中期計画の 2 期目となります。前期及び今期の反省点を踏まえ、より良い運用の仕方を構築し P D C A サイクルがスムーズにいくよう全社員の意識向上を更に強化したいという思いです。

社会貢献活動について平成 10 年より毎年行っています河内ダム周辺ボランティア活動や月に一度の会社周辺の美化活動、それに鳥栖市の清掃活動への参加やグリーン購入についても引き続き取り組んでまいります。

上記を踏まえ、環境方針・環境目標・環境活動計画及び環境経営システム等については変更する必要は無いと判断します。

今後とも、より一層の環境負荷削減に努め、エネルギー経費削減による更なるコストダウンにつなげていきたいと思っております。

平成 28 年 7 月 15 日  
代表取締役社長 大島 弘三